

(1)基本方針

静岡青年会議所が、設立当初から継続的に行ってきた青少年育成事業も、多くの諸先輩方をはじめとした保護者や関係諸団体の皆さまのお力添えにより、本年で15周年の節目を迎えました。子ども達をとりまく未来は、世界中のあらゆる分野の変革により、どのような社会になっていくかの予測をすることさえも困難となっています。世界が未知の領域に突入していこうとしているなかで、無限の可能性を秘めた子ども達は、世界中のどこで、どんな人々と行動を共にしていても、前向きな心を持ち、自らの強い意思と柔軟な姿勢で生き抜いていかなければなりません。そして私たち大人は、これからも子ども達に寄り添い、ともに予測困難な未来を生き、導いていかなければなりません。

本年度当室では、激動の未来に進んでいく子ども達が、世界中のどこでだれといっても、前向きな姿勢で、他者を理解し共に行動しながらも自身の意思を明確にもって歩を進めていける青少年育成に取り組めます。そして、これまで取り組んできたこの青少年育成事業がさらにこのまちと子ども達の成長につながっていくよう、これまで青少年育成事業に御尽力いただいた皆様、現在もご協力いただいている方々、そしてこれから子ども達と関わってくださる方々との結束を強固なものとしします。

未来に輝いていく子ども達が、年齢や性別、国籍や宗教などが違う他者のなかでも自らの意思を明確に持ち、それを共有し、共通の課題にチャレンジする機会を創出することで、他者を理解し協働しながらも、能動的に考え動いていけるようにします。また、個々の意思を、正解にとらわれない自由な発想で表現する機会を提供することで、各々が独自性のある確固たる発想を持ち合わせられるようにします。そして、これまで静岡青年会議所が取り組んできた青少年育成事業を、どのように未来につなげていくかのプランを関係各所や保護者と共有することで、未来に向かって協働して包括的に子どもたちを支えていくための結束を強めます。

私たちでさえ予想することの難しい未来に向かって歩んでいく子ども達が、自身の意見をもつこと、そしてそれを他者と共有する経験をすることで、自ら柔軟に判断し、突き進んでいくことができます。世界中のどんな場所のどんな環境下でも、前に進んでいける青少年育成を推し進め、私たち大人が子ども達を恒常的に支援していく体制を構築することで、子ども達はこのまちの未来で活躍できる人財となり、「胸が高鳴るSHIZUOKA」の創造につながっていくと確信します。